

1 班：住んでいる人が集い、憩い、活躍する静かな駅前広場

② 夕陽の カウンター (高架の上部)

① 芝生で日向ぼっこ

- ・地域住民が街に出て楽しむ
- ・芝生にベンチ
- ・交番

③ 並木の広場

- ・地域住民が自分の得意なことで活躍できる場
- ・シェアショップ
シェアキッチン
チャレンジショップ

④ シンボル広場

- ・桜の木
- ・サークルベンチ

③ 駅に併設

- ・公共サービス施設
- ・図書館など

⑤ 屋根のある歩廊

- ・駅とバス停を結ぶ

⑤ 車道を拡幅

- ・バスが停車中でも
追い抜けるように

⑤ 車を入れないエリア

⑥ 交通広場

- ・バス乗り場
- ・自家用車の送迎
- ・買物客や高齢者などが休める
- ・休んだり憩えたり
- ・広場用地買収にかかった店舗
の移転スペース

2 班：地域で活用できる、人の集う広場

③ バスプール

- ・バス停には屋根をかけベンチも

① 地域のイベントができる広場

- ・マルシェ、フリマ
- ・盆踊り
- ※日常は、木立の下のテーブルとイスで飲食したりくつろいだり

④ 北側の道路は、一般車両の乗り入れを禁止し、バスのみ通行可とする

② 待合せしやすく子ども連れに優しい広場

- ・ベンチでくつろいだり、遊具で子どもを遊ばせる
- ・交番は現在の位置がよい

④ 一般車両の送迎は、駅の南側で行う

③ 西側のバス停にも屋根をかける

阿佐ヶ谷駅

① 荻窪
② 阿佐ヶ谷

3班：寄り道ひろば ～みんなで集うおにぎりカフェ～

⑤ 送迎車の
分散配置

④ バス停

- ・バスの運行やバス停の配置は要検討
- ・バスを縦に配置できるとコンパクトに見える

② 水と緑の
涼しい広場

③ カフェゾーン

- ・駅周辺はカフェが少ない
→日常的な居場所になるとよい
- ・屋台を貸し出してお店を出す
(キッチンカーは場所を占める)
- ・カフェ出店には地域枠
- ・おにぎりは多世代が利用するアイテム

① 長いベンチ

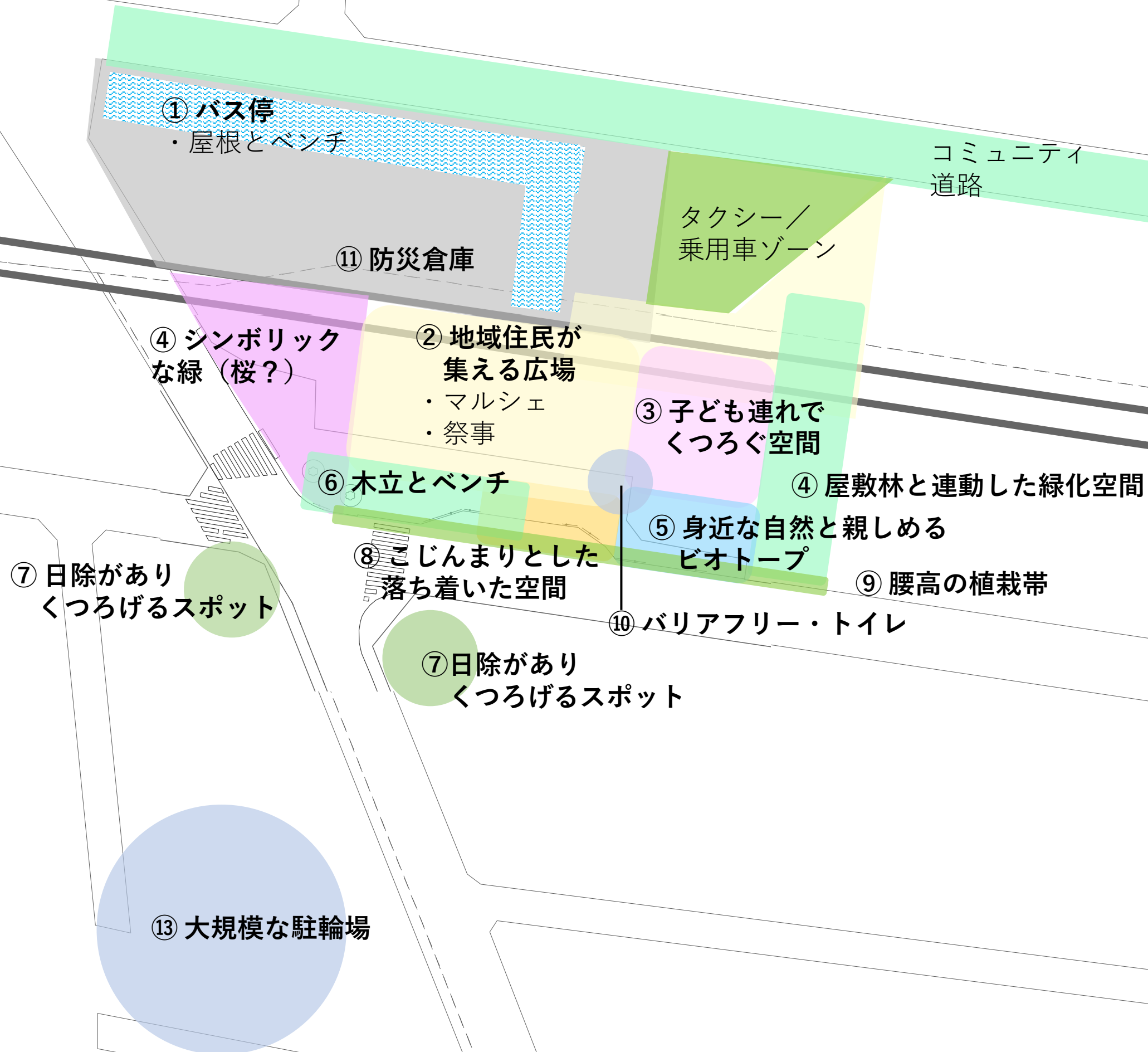
- ・バスプールと広場の境界に、地域の特徴が出る長いベンチ

⑤ コミュニティ道路

- ・人優先の道
- ・速度制限や公共交通以外は通行禁止など

⑤ 送迎車の
分散配置

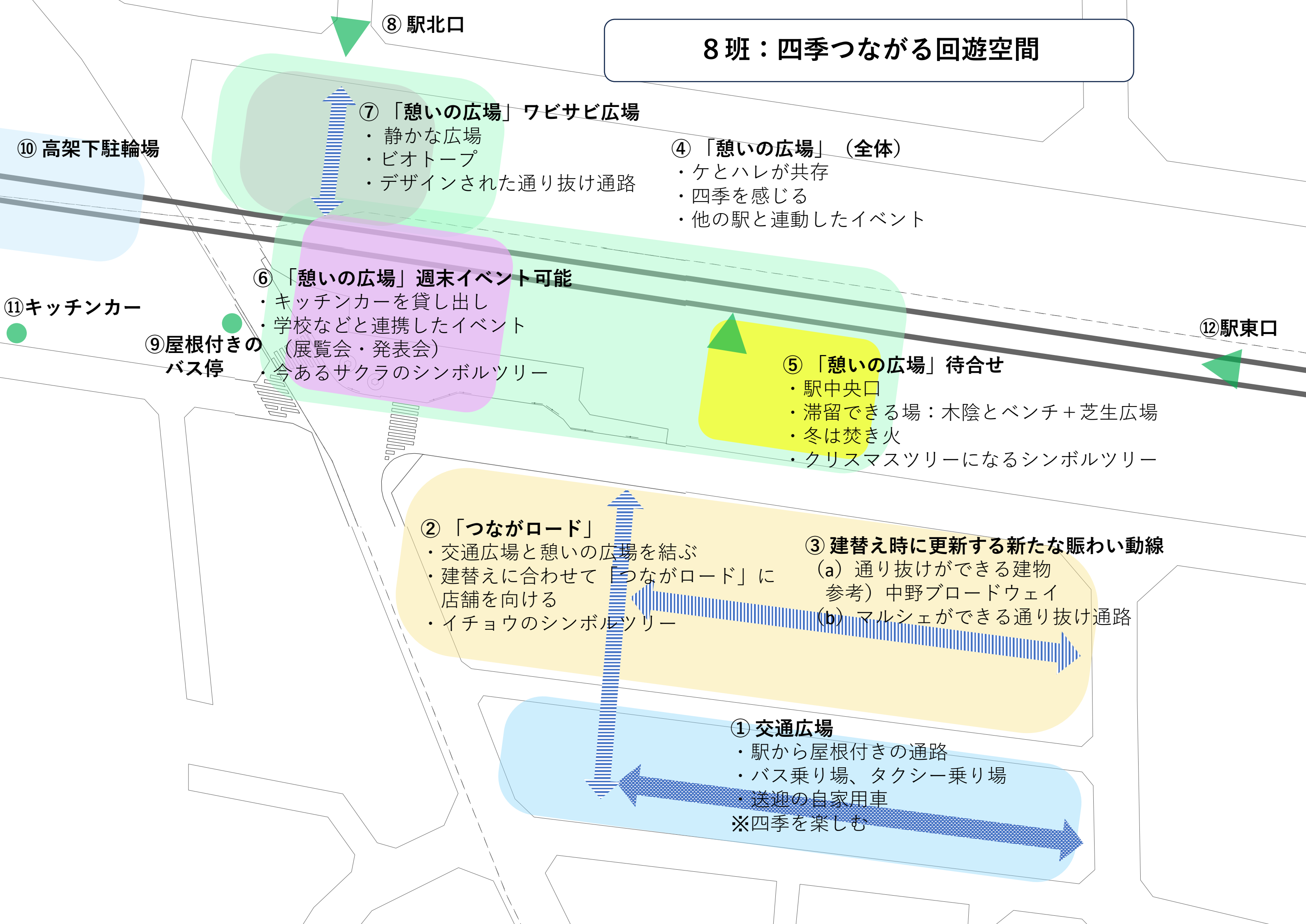
4班：誰でも集い、にぎわいのある、ひと休みできる、みどりのある、さりげない駅前広場 ～防災機能をプラス～



6 班：歩行安全と交通利便性のバランス案／閑静・こじんまり（買収を最小限に）
／歩行者スケール（下井草スケール）／仕事帰りに深呼吸



8班：四季つながる回遊空間



⑧ 駅北口

⑦ 「憩いの広場」 ワビサビ広場

- ・ 静かな広場
- ・ ビオトープ
- ・ デザインされた通り抜け通路

④ 「憩いの広場」 (全体)

- ・ ケとハレが共存
- ・ 四季を感じる
- ・ 他の駅と連動したイベント

⑥ 「憩いの広場」 週末イベント可能

- ・ キッチンカーを貸し出し
- ・ 学校などと連携したイベント
(展覧会・発表会)
- ・ 今あるサクラのシンボルツリー

⑨ 屋根付きの
バス停

⑤ 「憩いの広場」 待合せ

- ・ 駅中央口
- ・ 滞留できる場：木陰とベンチ＋芝生広場
- ・ 冬は焚き火
- ・ クリスマスツリーになるシンボルツリー

⑫ 駅東口

② 「つながロード」

- ・ 交通広場と憩いの広場を結ぶ
- ・ 建替えに合わせて「つながロード」に
店舗を向ける
- ・ イチョウのシンボルツリー

③ 建替え時に更新する新たな賑わい動線

- (a) 通り抜けができる建物
参考) 中野ブロードウェイ
- (b) マルシェができる通り抜け通路

① 交通広場

- ・ 駅から屋根付きの通路
- ・ バス乗り場、タクシー乗り場
- ・ 送迎の自家用車

※四季を楽しむ

⑩ 高架下駐輪場

⑪ キッチンカー